

## 2025年度 授業コード: 12104000

授業科目	応用時事英語				実務家教員担当科目	-					
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期				
担当教員	野中 誠司										
授業概要	時事英語入門で学習した内容をもとに、より発展性の高い授業を行います。授業の展開は基本的に入門と同じですが、記事を読む内容および分量が、入門よりも増加します。社会、政治、経済、文化、医療・健康、環境など多岐に渡る論説記事を読んでいきます。入門同様、最新の時事英語を日々更新しているウェブサイト RNN 時事英語辞典も活用しながら、小テストによってその理解度を確認していきます。場合によっては、受講人数制限を行うことがあります。										
授業形態	対面授業			授業方法	反転授業、ディスカッション						
<b>学生が達成すべき行動目標</b>											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>国内外におけるニュースや記事について、必要最低限の単語や表現を援用しながら、内容を日英の両方で説明できる。</li> <li>メディアから発信されるニュースや記事について、内容を比較検討し、客観的事実のみを取捨選択することができる。</li> </ol>										
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>国内外のさまざまな時事的内容に対する背景知識を有し、内容を日英の両方で的確に説明できる。</li> <li>メディアから発信されるニュースや記事について、客観的事実に基づいて自分の考えや意見を日英の両方で発信できる。</li> </ol>										
<b>評価方法・評価割合</b>											
	評価方法		評価割合 (数値)			備考					
	試験		50								
	小テスト		30			中間試験として第8回目の授業内で実施する					
	レポート										
	発表 (口頭、プレゼンテーション)										
	レポート外の提出物										
	その他		20			挙手による発表など授業への積極的な参加姿勢					
<b>カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング</b>											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN31302J
<b>学習課題 (予習・復習)</b>										<b>1回の目安時間 (時間)</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>当日の授業で取り上げた範囲の復習: 記事の日本語試訳から単語や熟語への口頭での変換・反復練習</li> <li>次回の授業で指定された範囲の予習: 単熟語の確認, 内容に関する背景知識の検索</li> </ol>										4	
<b>授業計画</b>											
第1回	Introduction, 2025年9月のリーディング記事: 英文和訳および内容についてのディスカッション										
第2回	2025年10月のリーディング記事: 英文和訳および内容についてのディスカッション										
第3回	2025年10月のリーディング記事: 英文和訳および内容についてのディスカッション										

第4回	2025年10月のリーディング記事：英文和訳および内容についてのディスカッション
第5回	2025年10月のリーディング記事：英文和訳および内容についてのディスカッション
第6回	2025年11月のリーディング記事：英文和訳および内容についてのディスカッション
第7回	2025年11月のリーディング記事：英文和訳および内容についてのディスカッション
第8回	中間試験，2025年11月のリーディング記事：英文和訳および内容についてのディスカッション
第9回	中間試験についてのフィードバック：総評，2025年11月のリーディング記事：英文和訳および内容についてのディスカッション
第10回	2025年12月のリーディング記事：英文和訳および内容についてのディスカッション
第11回	2025年12月のリーディング記事：英文和訳および内容についてのディスカッション
第12回	2025年12月のリーディング記事：英文和訳および内容についてのディスカッション
第13回	2025年12月のリーディング記事：英文和訳および内容についてのディスカッション
第14回	2026年1月のリーディング記事：英文和訳および内容についてのディスカッション
第15回	後期のまとめおよび総復習：印象に残った記事について各自の見解発表・共有および試験に関する質疑応答
テキスト	なし。適宜プリントを配付します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて講義の中で適宜紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	小テスト（中間試験）は採点后，必要に応じてコメント（継続すべき点，改善すべき点など）を書き添えて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	<ol style="list-style-type: none"> <li>履修登録名簿をもとに，座席を指定します。席について希望があれば，開講日に申し出てください。</li> <li>欠席等のあつかいについては，教務事項内の欠席の規定にしたがって適用します。詳細は開講日に説明しますので，必ず出席してください。</li> <li>指定された記事には，事前に必ず目を通しておいてください。予習した内容は，教科書に直接書き込まず，すべてノートに記入するようにしてください。</li> <li>新聞，テレビ，ウェブ等で，国内外の話題に興味や関心をもち，まずは日本語で自分の意見や考えを形成し，発信できる能力を身につけるように心がけてください。</li> </ol>